

はじめに、東日本大震災で被災された皆様にお見舞い申し上げますと共に、犠牲になられた方々に心より哀悼の意を表します。

多くの方がそうであったように、私も一人の日本人として、とても心が痛みました。

地域にも被災された方がいます。また、私の家族も被災しました。

震災で家や家族を失い、原発によって故郷を奪われてしまった被災者の皆さまが、一日も早く安心できる暮らしを取り戻せるよう、微力ではありますが、これからも復興のお手伝いを続けていきたいと思えます。

さて、この度の区議会選挙におきまして、皆さまの真心からのご支援で3期目を務めさせていただくこととなりました。これからまた4年間「いつでも現場主義！」で、皆さまのお声にしっかりと応えしてまいりますので何卒よろしくごお願い申し上げます。

はじめに、東日本大震災で被災された皆様にお見舞い申し上げますと共に、犠牲になられた方々に心より哀悼の意を表します。

多くの方がそうであったように、私も一人の日本人として、とても心が痛みました。

地域にも被災された方がいます。また、私の家族も被災しました。

震災で家や家族を失い、原発によって故郷を奪われてしまった被災者の皆さまが、一日も早く安心できる暮らしを取り戻せるよう、微力ではありますが、これからも復興のお手伝いを続けていきたいと思えます。

さて、この度の区議会選挙におきまして、皆さまの真心からのご支援で3期目を務めさせていただくこととなりました。これからまた4年間「いつでも現場主義！」で、皆さまのお声にしっかりと応えしてまいりますので何卒よろしくごお願い申し上げます。



**東日本大震災の復旧・復興を支援**

【杉並区内での取り組み】=行政へ直接申し入れ、実現！

- ・区内避難者への相談窓口を設置
- ・区内に被災者用の住宅を50戸確保
- ・ツイッターの杉並区公式アカウントを取得し、震災情報を発信

【福島県富岡町への取り組み】

- ・震災直後、家族の被災地である富岡町避難所へ400食の非常食、水、薬品を届ける
- ・町役場の機能復旧のため臨時町役場へ、地域の商店街、企業と協力して、パソコン20台とプリンター、文房具用品を届ける



【ほかの被災地への取り組み】

- ・南相馬市 子どものためのNPO団体へ、チャリティーコンサートでの義援金を届ける
- ・福島県いわき市、南相馬市、宮城県石巻市の被災状況を視察



**杉並区の震災対策の強化を急げ！**

議会報告

第2回定例会一般質問から



区議会第2回定例会の本会議で一般質問に臨む渡辺ふじお

**Q、防災後の迅速な業務復旧のための業務継続計画（BCP）を想定震度以下でも発動すべき**

A、想定震度6弱以下でも発動することは必要である

**Q、すぎなみ丸ごとWi-Fi化を提案してきたが、災害時の通信インフラとしても利用できる公衆無線LAN(Wi-Fi)設置の進捗状況は**

A、区立施設24カ所へ6月中に設置が終わり、7月から運用開始予定

**Q、広報杉並をはじめとし**

**Q、防災後の迅速な業務復旧のための業務継続計画（BCP）を想定震度以下でも発動すべき**

A、想定震度6弱以下でも発動することは必要である

**Q、重要なハードシステムの本庁舎外への移設、データバックアップ体制の強化について検討を急ぐべきと思うが**

A、新たな情報伝達手段として注目しているのが、今後研究する

**Q、区内小中学校における震災時の課題と児童引き渡し方法について、今後の取り組みは**

A、交通機関のマヒや通信網の混乱で保護者の引き取りが困難なケースがあったが、今後は学校で責任を持って預かることを原則とした体制等を教育委員会として示していく

**Q、震災を教訓とした、まちづくりの方向性と阿佐ヶ谷駅南口広場の復旧については**

A、不燃化や耐震化の促進、自然エネルギーの有効活用、新たなコミュニケーション施策等によって安心安全な住宅都市を築いていく。また、南口駅前広場については地域の催しなどを考慮し、可能な限り広場面積を確保する。

**Q、災害時相互援助協定を結ぶ自治体を増やすべきと考えるが**

A、地域のバランスを考慮し、現在ある友好自治体との協定をまず検討する

**Q、復興支援に対する意識の風化を食い止めるために、長期的な復興支援の枠組みを作っていくことが必要。そこで継続的な支援を安定的に行うための財政基盤作りという観点から、区独自の「復興支援基金」の創設を提案する**

A、これまで物的支援、人的支援、義援金等様々な形で支援を行ってきたが、基金については、今後可能性

**渡辺ふじお**(わたなべ・ふじお)  
昭和34年5月22日生まれ 52歳

【略歴】大分県出身/東京農業大学卒業/(株)日産フィナンシャルサービスを経て、平成15年4月区議初当選/今年4月に3期目の当選

【今年度の議会役職及び所属委員会】総務財政委員会副委員長、災害対策特別委員会委員、杉並区財産価格審議会委員、杉並区表彰審査会委員

【党役職】東京都本部政策局次長、杉並第8支部支部長、区議会公明党政務調査会長

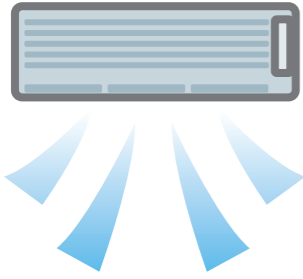
**渡辺ふじおメルマガ始めました！**

携帯電話で右のQRコードにアクセスすれば簡単に登録することができます。ぜひご覧ください。

ツイッターを始めました。アカウントは watanabefujio です。ツイッターアカウントをお持ちの方はぜひフォローしてください。アカウント登録などは <http://twitter.com>

☆ 実現しました ☆

また、学校の消費電力のピーク時の抑制対策として、給食室の熱風食器消毒保管庫の稼働時間を夕方4時以降へずらすことにより、エアコンとは比較にならないほど大きな効果を上げています。



杉並区は、原子力発電所の事故を受けて放射線の健康被害への懸念が高まっています。そこで区民の不安解消に努めるため、独自に区内の保育園、幼稚園、小中学校での放射線量測定調査を実施中です。プール水、土壌、砂場、大気を測定しています。が、いずれの測定でも、これまで人体の健康に影響を及ぼす数値は検出されていません。(測定データは杉並区役所のホームページに掲載されています)

区立学校の節電対策とエアコン稼働について

杉並区議会公明党は、熱中症から小中学生を守るため、6月までに区立小中学校全普通教室へのエアコン設置を実現させました。

この夏の電力不足に対して、学校においても節電が行われますが、熱中症は命に関わる問題です。杉並区はあくまでも、「児童・生徒の健康を第一に！」の考えのもと、エアコンの稼働を行います。

児童・生徒の健康を第一に！

区民の安心・安全の確保のために！

区内放射線量の測定について

杉並区は、原子力発電所の事故を受けて放射線の健康被害への懸念が高まっています。そこで区民の不安解消に努めるため、独自に区内の保育園、幼稚園、小中学校での放射線量測定調査を実施中です。



田中区長（中央）に対し緊急要望書を手渡す渡辺ふじお（左端）ら区議会公明党のメンバー

「『いのちを守る』緊急要望書」を田中区長に提出

区議会公明党が緊急要望



杉並区議会公明党は、大震災による様々な影響を踏まえた政策を含め、喫緊の課題について、下記のような「『いのちを守る』緊急要望書」としてまとめ、田中区長に提出しました。

田中区長からは、要望を区民の声としてしっかりと受け止め、これからも被災地の復興支援とともに、区民の安心・安全の確保に全力で取り組む旨の話がありました。

1. 将来の区民の貴重な財産として、下高井戸2丁目の東京電力総合グラウンド取得するために全力を尽くすこと。
2. 区独自で子どもたちが利用する学校・保育園等の放射線量の測定を行い、区民の不安解消に努めること。
3. 今夏の節電に対して、高齢者等の熱中症対策に万全を期すこと。
4. いのちを守るがん対策の一環として、国の大腸がんクーポン券事業について、年度内の予算化を図ること。

Wi-Fi すぎなみ丸ごとWi-Fi化始まる！

爆発的にスマートフォンが普及が進んでいます。それに対応して杉並区では、区民のサービス向上を図るため、区役所本庁舎、中央図書館をはじめとした区内へ公衆無線LANの設置を完了させました。今後、随時増設する予定です。また、区内商店街へも設置を推進中です。

地域活動・実績から



地元、阿佐谷中学校で陸上部のコーチを始めて7年目になりました。

地域スポーツクラブ設置拡大を！

少子化に伴い生徒数が激減。また指導者不足によって部活動が満足に行えない状況があります。今後、子供たちのスポーツ環境を整えて行くためにも地域のスポーツクラブ設置は重要と考えています。現在、関係者や地域の皆さまと協力しながら実現に向けて進めています。これから、杉並の新たなスポーツ振興に全力で取り組みます。